

# 耐風圧デッキ採用広がる

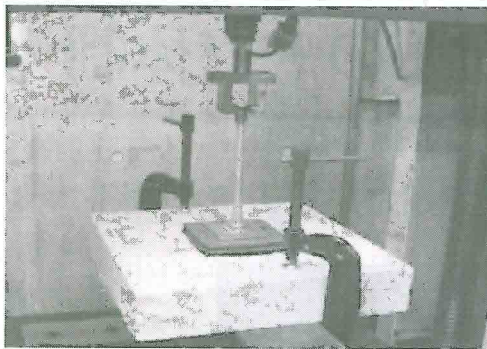
## 屋上やサーフィン施設など

### ケーワンシステム

北海道を中心に二重床を供給・施工し、万協フロアーの特約店でもあるケーワンシステム(札幌市、原田慶一社長)のデッキシステムで、耐風圧の性能を持つtype PDPの利用が広がっている。

PDPは、ビルの屋根などの材種でも利用上や、サーフィンなどで、風圧の掛かる設のマリンスポーツ施設置場所での採用が増えている。支持脚と接着部分を増強し、耐風圧性を高めている。荷重試験機による引っ張り強度試験では、平均334kgf/本まで耐えられることを確認している。また、ムク材、高温処理木材、人工木

材などの材種でも利用できる。風圧の掛かる設置場所での採用が増えている。同社は、これまでにユーザーの安全を考えたデッキシステムを多数開発。2017年に開発したK1デッキシステムの性能を文庫施設向けに適用したウッドデッキシステム「文教Playタイプ



支持脚+バリキャップの引っ張り強度試験

を取り入れたシステムだ。安全性を考慮し、けがを減らすため緩衝効果値を考えて開発した。

18年には、車両乗り入れの需要に対応するため「文教Playタイプストロ

ング」を開発。デッキに緊急車両が乗っても耐えられるようにし、グラランピンG施設での採用など新たな需要を開拓している。

原田社長

は、ZAM鋼製床下地と人工木で形成するウッドデッキに、体育館に求められる床の置が無理だと思われた場所でも設置が可能

だ。当社は今後も様々なデッキを提供し、幅広い需要に応えていきたい」と語る。